昭和十年度直轄工事年報

總論

第一治水事業

我國ハ古來水害多ク其損失價額モ年々數千萬圓ノ多キニ達スルヲ以テ政府ハ夙ニ治水ノ必要ヲ認メ河川ノ修築改良ニ努力セルコト久シ而シテ政府ガ始テ直轄工事ヲ施行シタル河川ハ淀川ニシテ其起工ハ實ニ明治七年五月ニ在リ次デ同八年六月利根川ノ工事ニ着手シ翌九年十一月ニハ信濃川ノ工事ヲ起シ同十一年三月ニハ木曾川、同十五年六月ニハ北上川、同年七月ニハ阿賀野川、同十六年八月ニハ富士川、同年十一月ニハ庄川、同十七年四月ニハ阿武隈川、同年七月ニハ最上川及筑後川、同年八月ニハ吉野川、同十八年三月ニハ大井川、同年六月ニハ天龍川ノ工事ヲ實施スルニ至リシガ是等十四河川ノ工事ハ專ラ低水工事及砂防工事ヲ施行シタリシモノニシテ明治十九年ニ至リ始テ淀川以外ノ河川ニ高水工事ヲモ併セ行フコトトシ夫々工事ヲ進行セシメタリ其後同二十九年四月ニ至リ法律第七十一號ヲ以テ河川法ヲ公布セラレタル結果同法ニ依リ淀、筑後ノ兩川ニハ同年六月ヨリ高水防禦工事ヲ實施スル事トナリ續テ同三十三年四月ニハ庄川、九頭龍川、同年九月ニハ利根川第一期工事、同三十九年四月ニハ遠賀川、同四十年四月ニハ淀川下流、吉野川、高梁川、信濃川分水工事、同四十一年一月ニハ利根川第二期工事、同四十二年四月ニハ同川第三期工事、同四十三年四月ニハ利根川支川渡良瀬川ノ改修工事ヲ施行スルニ至レリ然ルニ明治四十

三年ニ於テ全國各地方大水害ノ爲メ未曾有ノ悲慘事ヲ現出セルニ依リ政府ハ臨時治水調査會ヲ設ケ根本的治水ノ計畫ヲ樹立スル事トナリ同會ニ於テ決議シタル計畫豫算ヲ第三十七回帝國議會ニ提出シテ協賛ヲ得同四十四年度ヨリ該計畫通リ事業ヲ遂行スルニ至レリ右計畫ハ河川改修ト砂防トノ二工事トシ河川ノ改修ハ河川法ニ依リ國ノ直轄事業トシテ改修ヲ爲スベキ河川ヲ六十五河川ト定メ之ガ施行時期ヲ二期ニ區別シ改修ノ利益ヲ可成的全國各地ニ均霑セシメントスルモノナリ其河川名左ノ如シ

第一期河川

利根川　信濃川　木曾川　淀　川　九頭龍川
吉野川　庄　川　高梁川　遠賀川　北上川
雄物川　荒　川　阿賀野川　富士川　最上川
神通川　岩木川　加古川　絲　川　斐伊川
（以上二十河川）

第二期河川

天龍川　阿武隈川　筑後川　那珂川　庄内川
中　川　手取川　矢作川　大和川　吉井川
馬淵川　紀ノ川　大淀川　由良川　多摩川
關　川　米代川　鳴瀬川　久慈川　菊池川
鄕　川　旭　川　渡　川　蘆田川　內川
相坂川　千代川　鶴見川　大野川　球磨川
相模川　肱　川　矢部川　狩野川　圓山川
肝屬川　太田川（靜岡）　豐　川　白　川　大分川

酒匂川　鈴鹿川　太田川(廣島)　名取川　仁淀川
(以上四十五河川)

右ノ内第一期河川ハ大正十七年度(昭和三年度)迄ニ全部ヲ竣功セシメ第二期河川ハ第一期河川ノ工事期間内ニ調査ヲ行ヒ第一期河川改修工事ノ竣功ヲ俟チ改修ニ著手シ得ベキ準備ヲ爲スコトトシ又砂防工事ハ河川改修ノ計畫ニ伴ヒ直轄河川ノ流域ニ對シテハ國自ラ之ヲ施行スルヲ原則トシ地方行政廳ニ於テ施行スルモノニ對シテハ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與フルコトトセリ

以上ノ計畫ニ依リ明治四十四年度以降著々事業ノ進捗ニ努メタルモ大正二年度ニ至リ財政上ノ都合ニ依リ一部繰延ベノ不得止ニ至リタル爲メ第一期事業全體ノ完成年限ヲ一箇年度延長シ同十八年度迄ニ全部完成ノ事ニ變更シタルモ大正十年度ニ至リ第一期河川中既ニ竣功セルモノ三河川ト竣功ニ近ヅケルモノ數河川ニシテ未著手ノモノハ斐伊、綠ノ二河川ニ過ギザリシ(後兩川トモ著工)ト一面ニハ河狀ノ變化、產業ノ推移等治水計畫上更ニ調査ヲ必要トシタルヲ以テ第二次臨時治水調査會ニ於テ愼重審議ノ結果既ニ國ニ於テ施行中ノ河川竝ニ砂防工事ノ外ニ前記第二期河川其他ヨリ改修河川ヲ選定シ大正十一年度以降二十箇年度內ニ施行スルヲ適當ナリト認メ之レガ決定ヲ見タルモノ卽チ左記河川是ナリ

鬼怒川(利根川支川)　小貝川(利根川支川)　信濃川上流(新潟縣下)　犀川(信濃川支川)
野洲川(淀川支川)　木津川(淀川支川)　北上川上流　雄物川上流
最上川上流　天龍川　阿武隈川　筑後川
那珂川　庄內川　手取川　矢作川
大和川　吉井川　馬淵川　紀ノ川

大淀川　由良川　關川　米代川
久慈川　旭川　渡川　蘆田川
川内川　千代川　鶴見川　大野川
相模川　肱川　狩野川　肝屬川
豐川　白川　大分川　酒匂川
鈴鹿川　太田川（廣島）　名取川　仁淀川
新宮川　安倍川　菊川　大井川
北川　常願寺川　小矢部川　黒部川
天神川　日野川　佐波川　那賀川
十器川

（以上五十七河川）

右ノ內帝國議會ニ於テ改修スベキ繼續事業トシテ協賛ヲ經タルモノハ信濃川上流、天龍、千代、蘆田、紀ノ、筑後、北、旭、鬼怒、大淀、狩野、那賀、大野、渡、木津、川內及太田（靜岡）、安倍、多摩上流ノ十九河川ナリトス

斯ノ如ク政府ハ鋭意河川改修工事ニ努力セリト雖モ其改修區域ハ利害ノ關係極テ重大ナル部分ノミナルヲ以テ其上流又ハ支派川改修ノ如キハ自然之ヲ關係地方ノ經營ニ委ネザルベカラズ又第二期河川ノ改修ハ第一期河川工事ノ竣功後ニ非ザレバ著手スル能ハザルノ狀況ナルモ比年洪水頻リニ臻リ損害甚大ナルヲ以テ政府ハ益々河川改修速成ノ緊要ナルヲ認メ關係府縣ニ於テ根本的改修計畫ノ調査ヲ了シ工事ニ著手スルニ於テハ國庫財政ノ都合ニ依リ相當補助ヲ與ヘ且場合ニ依リ明治三十年法律第三十七號ニ基キ內務大臣ニ於テ事業ヲ直接施行スルノ方針ヲ決定シ河川改良費トシテ大正六年度ヨリ江合、鳴

瀬兩川改修費ヘ國庫ヨリ二分ノ一ヲ補助シ大正七年度ヨリ多摩川、千曲川(信濃川上流)ノ改修工事ニモ亦工費ノ半額ヲ補助シ且其事業ヲ直接施行スルコトトナリ尚翌八年度ヨリハ太田川(靜岡)、阿賀阿武隈兩川ノ改修工事、同九年度ヨリハ圓山川ノ改修工事ニ對シ孰レモ半額ノ補助ヲ與ヘ且其工事ヲ全部直接施行スル事トナリシガ以上七河川トモ同十二年度ヨリ他ノ河川ト共ニ直轄施行ノコトトナレリ又淀川改修工事ハ大正六年九月三十日及同年十月一日ノ大洪水ニ鑑ミ更ニ增補工事ヲ施行スルノ必要ヲ認メ大正七年度以降河川法第八條ニ依リ該工事ヲ直轄施行スルニ至レリ而シテ治水事業ハ昭和五、六兩年度ニ於テ繰延節約サレタル結果繼續各年度割額僅少トナリ全般ニ亙ル工事ノ進捗ヲ遲延スルノ止ム無キニ至レリ就中工事施行ノ最盛期ニ當ル河川ニ在リテハ施工ノ手順ニ大ナル支障ヲ來セルノミナラズ既成部分ノ工事ヲ維持スル上ニ必要トスルモノ又ハ其效果ヲ充分ナラシムル爲メ急施ヲ要スルモノアルモ少額ノ年度割ニテハ到底工事ヲ遂行シ能ハザルガ故ニ八年度ニ於テハ經濟界ノ不況ニ因ル時局匡救ト農村振興ノ意味ヲ以テ既定年割額ノ外荒川上流外十六箇川等ニ係ル總額四百六十萬五千三百圓(內地方負擔二十五萬圓)ヲ繰上ゲ施行ノコトトナレリ

昭和八年ノ土木會議ニ於テ第三次治水計畫ヲ樹立セリ卽チ明治四十三年ノ臨時治水調査會ノ決議ニ依ル豫定方針ニ從ヘバ今後八箇年度內ニ四十一箇川ノ改修ヲ行ハザルベカラザルガ國庫ノ財政ハ是等多數ノ河川ヲ此短期間ニ改修スルコト到底困難ナリト認メラルルヲ以テ緊急改修ヲ要スル左記河川ニ付テハ今後十箇年度內ニ着工シ同十五箇年度內ニ完成シ其他ノ河川ハ之ニ續テ著工スルヲ適當ト認メラル其河川ハ次ノ如シ

北上川上流　米代川　雄物川上流　阿武隈川下流

久慈川　入間川　鶴見川　相模川
黒部川　常願寺川　小矢部川　手取川
豊川　庄内川　新宮川　由良川
天神川　吉井川　郷川　菊池川
白川　球磨川　大分川　肝属川

（以上二十四河川）

此以外ノ河川ニ付テモ今後河川ノ變化ニ依リ水害著シク增大シテ速ニ改修工事施行ノ要アル場合ニ於テハ直ニ追加シテ工事ニ著手スルモノトシ又國ノ直轄改修ヲ待タズ府縣ニ於テ改良工事ニ著手スル場合ハ別途中小河川改修ノ例ニ倣ヒ國庫ニ於テ助成スルモノトス

又現ニ改修工事ノ一部ニ著手シタル左記河川ハ今後繼續施工シ其完成ヲ期スルモノニシテ木曾川下流ハ既ニ一應改修濟ナルモ現在堤防ヲ以テハ其安全ヲ期シ難キヲ以テ成ルベク速ニ其ノ增補工事ヲ行フモノトス

最上川上流　小貝川　烏川（神流川ヲ含ム）　菊川
矢作川　大和川

砂防ニ就テハ既定計畫ニ基キ鋭意遂行シ來リタルモ尙利害ノ關係重大ニシテ工事困難ナル左記十九河川ヲ國ノ直轄トシ今後十箇年度內ニ著工シ同十五箇年度內ニ完成スルモノトス

最上川支流立谷澤川　同　銅山川　阿武隈川支流荒川
鬼怒川　渡良瀬川　相模川

信濃川支流清津川　黒部川　富士川水系
信濃川水系　天龍川水系　庄内川支流土岐川
木曾川支流中津川（落合川ヲ含ム）　安倍川　大井川
野洲川　淀川支流大戸川　新宮川支流十津川
蘆田川

既定河川ノ内本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルモノハ筑後川、淀川（増補工事トモ）木曾川下流、庄川、遠賀川、淀川下流、九頭龍川ノ幹川及同支川日野川及足羽川、渡良瀬川（利根川支川）、信濃川、吉野川、高梁川、利根川第一期乃至第三期（江戸川、中川ヲ含ム）、荒川下流、阿賀野川、多摩川、北上川、太田川（静岡）、加古川ノ十五流域ニシテ工事中ノモノハ荒川上流、最上川、江合鳴瀬兩川、雄物川、千曲川（信濃川上流）、神通川、岩木川、阿賀阿武隈兩川、圓山川、富士川、木曾川上流、斐伊川、信濃川上流（新潟縣下）、天龍川、千代川、蘆田川紀ノ川、筑後川新工事、綠川、北川、旭川、鬼怒川（利根川支川）、大淀川、狩野川、那賀川、大野川、渡川、木津川（淀川支川）、川内川、太田川（廣島）、安倍川、多摩川上流、最上川上流、矢作川、淀川低水、小貝川、菊川、烏神流川、手取川、小矢部川、天神川ノ四十一工事ナリ而シテ右ノ内附屬物及水路維持工事トシテ實施中ノモノハ木曾川、淀川、利根渡良瀬兩川、信濃川、荒川、多摩川、北上川ノ八河川ナリ又各河川ノ水源保全タル砂防工事ノ竣成シタルハ吉野川及野洲川（淀川支川）、神通川、桂川（淀川支川）ノ四河川ニシテ實施中ノモノハ淀川流域（瀬田川）、富士川、信濃川水系（千曲川）、鬼怒川（利根川支川）、常願寺川、手取川、揖斐川（舊木曾川支川）、木津川（淀川支川）、神通川ノ九河川ナリ此内淀川ハ昭和四年度ヲ以テ豫定計畫期間滿了トナリシモ急施ヲ要スル箇所ニ對シ更ニ十箇年度ノ續工ヲ爲スモノニシテ千曲川モ同七年度ヲ以テ竣成ノ豫定ナリシガ是亦千曲川及支川犀川ニ於ケル荒廢溪流ニ對シ施工ノ要アルヲ以テ信濃川水系ト

改稱シ七年九月以降農村振興土木事業トシテ十年度迄ニ追加工事ヲ爲スモノナリトス

第一　港灣改良事業

港灣改良工事ニ關シテハ明治初年以來或ハ直轄工事ヲ起シ或ハ國庫補助ヲ與ヘ之ガ助成ニ努力シタリシガ時運ノ急進ト共ニ港灣問題ハ益重要ヲ加ヘタレバ明治三十三年六月勅令第二百六十二號ヲ以テ港灣調査會ヲ新設シ港灣ニ關スル重要事項ヲ審議セシメタリシモ同會ハ同三十六年ニ至リ各種ノ調査會廢止ト共ニ一時廢絕シ其後同三十九年六月ニ至リ再ビ內務省ニ港灣調査會ヲ設置シ更ニ同四十年六月勅令第二百四十三號ヲ以テ港灣調査會官制ヲ定メラレ同會ニ於テ本邦ノ港灣ヲ三種ニ分チ第一ハ國ニ於テ修築スルモノ、第二ハ地方起工ノモノニ對シ國庫ヨリ相當補助ヲ與フルモノ、第三ハ地方ノ獨力經營ニ委ヌベキモノトニ區別シ卽チ明治四十年十月同調査會ニ於テ第一種港灣トシテハ橫濱、神戶、關門海峽（下關、門司）、敦賀ノ五港ヲ選定シ第二種港灣トシテハ東京、伊勢灣內ノ一港、大阪、鹿兒島、長崎、境、新潟、船川（土崎ヲ含ム）、靑森、仙臺灣內ノ一港（明治四十三年五月伊勢灣內ノ一港トシテハ四日市港、仙臺灣內ノ一港トシテハ鹽釜港ヲ選定ス）ノ十港ト定メ又大正八年七月名古屋港ヲ、同九年十月淸水、那覇ノ兩港ヲ同十年六月若松、高松、小松島、今治、伏木、伊萬里ノ六港ヲ加ヘ更ニ昭和二年十一月小名濱、細島、浦戶、宮古、大分、七尾、尾道、博多ノ八港ヲ選定シ同三年八月舞鶴港ヲ、同四年七月酒田港ヲ、同年十二月三角、宇野ノ兩港ヲ、同八年一月和歌山、廣島ノ兩港ヲ、同十年二月八戶、飾磨、宇部ノ三港ヲ追加シ三十六港ヲ數ヘ第一種、第二種ヲ通ジテ四十一港トナレリ而シテ大正七年十月閣議ニ於テハ港灣ノ經營ヲ內務省ニ統一施行スルノ決定ヲ見タリ

重要諸港灣中敦賀港ハ明治四十二年七月起工シ大正三年三月竣工セシモ其後第二期修築工事ヲ行フノ

必要ヲ認メ更ニ同十一年度ヨリ起工シ昭和七年度ヲ以テ竣功ヲ告ゲタリ又關門海峽改良工事ハ明治四十三年度ニ於テ起工シ又神戸港防波堤築造工事同港修築工事門司港修築工事、横濱港維持工事ハ大正八年度ヨリ起工シ下關港ハ同十年度ヨリ起工セシガ上記ノ内神戸港防波堤築造工事、横濱港維持工事ハ同十年度ヨリ内務省所管トナリ各修築工事ニ包括サレ何レモ目下工事實施中ナリ而シテ鹽釜港修築工事ハ其工費ノ二分ノ一ヲ補助セラレ同三年度ヨリ起工シ、新潟港ハ同三分ノ一ヲ補助セラレ同六年度ヨリ起工(市ノ起工セシヲ縣ニ於テ繼承)シ、長崎港ハ工費二分ノ一ヲ補助セラレ同九年度ヨリ起工シ、清水港モ同率ノ補助ニ依リ同十年度ヨリ起工シ、高松、境ノ兩港亦工費二分ノ一ヲ補助セラレ同十一年度ヨリ起工シ、今治港ハ今治市施工ノ後ヲ承ケ同十二年度ヨリ工費二分ノ一ヲ補助セラレテ續工シ、小松島及鹿兒島ノ兩港モ同年度ヨリ起工シ、伏木港ハ同十三年度ヨリ起工シタリ又土崎港ハ昭和三年度乃至八年度ニ於ケル秋田縣施行ノ工事ナリシガ小名濱、宮古浦戸、七尾、尾道、舞鶴、博多ノ七港ト共ニ昭和四年度ヨリ是亦大體同一ノ補助率ニ依リ國ノ直接施行トシテ起工シ夫々工事實施中ナリ而シテ右ノ港灣工事ハ何レモ明治三十年法律第三十七號ニ依リ施行スルモノナリ

昭和八年度ニ於テハ既定修築費ノ一割ヲ節約、實行豫算トシ其既定工事ヲ施行スルノ外産業振興事業トシテ横濱外九港ノ修築費ヲ十萬圓乃至四十萬圓ヲ繰上ゲ以テ港灣機能ノ充實ヲ促進セントス其繰上總額百三十五萬圓(内地方負債五十六萬圓)ナリ尚關門海峽及神戸港、今治港、鹿兒島港、鹽釜港ノ各港ハ産業開發ノ爲メ新工事ヲ追加起興スルコトトナリ尚重要港灣ニシテ未ダ改良工事ヲ施行セザル港灣中昭和七年度ヨリ改良工事ニ著手シタルモノハ大分港、三角港、細島港、宇野港ノ四港ニシテ又青森港第二期ト若松港トハ共ニ國庫ヨリ約二分ノ一ヲ補助セラレ是亦同年度ヨリ起工ノコトトナリ酒田、和歌山、廣島ノ三港

ハ時局匡救事業トシテ八年度ヨリ二箇年度ノ豫定ヲ以テ施工スルコトトナレリ而シテ門司港浚渫工事トシテ第二豫備金ヨリ支出シ本年度起工一箇年度ヲ以テ完了セリ

港灣工事中本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルモノハ敦賀港第一期及第二期、新潟港、長崎港、高松港、下關港、門司港、境港、今治港、鹽釜港、小松島港、鹿兒島港、清水港及門司港浚渫ノ十四工事ニシテ尙工事中ノモノハ關門海峽、神戸港、横濱港、伏木港、土崎港、小名濱港、宮古港、浦戸港、七尾港、尾道港、舞鶴港、博多港、青森港第二期、宇野港、三角港、大分港、細島港、若松港、廣島港、和歌山港、酒田港ノ二十一港灣ナリトス

第三　復舊、補修及應急事業

大正十二年九月一日關東地方ニ於ケル稀有ノ大震災ノ爲メ直轄事業其他ノ被リタル損害ハ多大ナルモノニシテ之レガ焦眉ノ急ト爲シ河川ノ復舊工事トシテハ利根川及渡良瀬川、荒川、多摩川、富士川ノ五河川流域ニ對シ大正十二、十三ノ兩年度ニ於テ應急施行シ又砂防ノ復舊工事トシテハ相模川及酒匂川、早川、花水川、多摩川ノ五河川流域ニ對シ同十三年度以降十箇年度ノ繼續工事トシテ施行スルモノニシテ既ニ河川工事ハ豫定ノ如ク之ヲ完了シタリ而シテ横濱港ニ對シテハ同十二年度以降三箇年度施行ニ係リ其費額ハ從來ノ横濱港修築費ノ第三期工事ト共ニ横濱港復舊及修築費トシテ施行スルモノニシテ其復舊工事ハ同十四年度ヲ以テ完了シタリ又大正十四年八月中旬ニ於ケル近來稀有ノ大出水ニ因リ利根川本流筋及派川江戸川、支川渡良瀬川ノ被害ニ對シ大正十四、十五ノ兩年度ニ於テ之ガ復舊工事ヲ施行シタリ尙昭和三年八月初旬ニ於ケル稀有ノ出水ニ因リ利根、渡良瀬兩川維持工事ニ與ヘラレタル被害ニ對シテモ昭和三、四ノ兩年度ニ之ガ復舊工事ヲ要スル事トナリ施行中ノ處本年度ヲ以テ其工ヲ竣ヘタリ又昭和六

年九月同兩川筋ニ於ケル大震災ニ因ル復舊工事ヲ昭和六、七兩年度ニ施行スルコトトナリ又信濃川大河津自在堰ハ昭和二年六月下旬竝ニ同年七月上旬ニ於テ突如「ピーヤ」陷沒ノ爲メ水量調節ノ機能ヲ失ヒタル影響トシテ大河津下流ノ本流及派川中ノ口川沿岸ノ灌漑ト航通トニ支障ヲ及ボシ之ガ應急工事ヲ施行セルト共ニ其復舊及附隨ノ諸工事ヲ施行スルコトトナリ其應急工事ハ同年度內ニ完成シ其補修工事モ六年度ヲ以テ完成シ利根渡良瀨兩川築堤其他震災復舊工事モ同七年度ヲ以テ之ガ完成ヲ見タリ而シテ第二期川タル大和川ハ地辻ノ爲メ河幅ノ狹窄、河床ノ隆起ヲ招キ、流水ノ閉塞ヲ來シ之ガ復舊ニ努メタリシモ地辻運動ノ終息ヲ見ルニ至ラズ洪水防禦上完全ヲ期スルガ爲メ八年度ヨリ着工セル應急工事及前年着工ノ桂川災害復舊工事モ本年度ニ於テ竣功セリ而シテ十年度ニ淀川維持工事ニ與ヘタル水害ハ之レガ復舊ヲ要シ、十年度ニ於ケル利根、渡良瀨兩川維持工事及筑後川改修工事ニ與ヘタル水害モ復舊ノ要アルヲ以テ施工ノ上共ニ本年度ヲ以テ竣功シタリ故ニ本事業トシテハ相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事ヲ剩スノミナリトス

第四　國道改良事業

經濟界不況ノ影響トシテ全國的ニ瓦ル幾多失業者ノ發生ハ頗ル寒心ニ堪ヘザルトコロニシテ之レガ爲メ失業救濟道路改良費ノ稱呼ノ下ニ專ラ一般勞働者ノ失業ヲ救濟スルノ目的ヲ以テ創定ヲ見タリ尤モ從來道路改良費トシテ道路ノ改良ヲ助成スル爲メ地方ヲシテ國道以下適當ナル改良事業ヲ起興セシメ政府ハ之ニ對シ補助スルノ方針ヲ以テ制定サレタルモノナリシヲ國家ノ直營事業トシテ昭和六年度ニ於テ失業救濟ノ國道改良工事ヲ施行スルト同時ニ各地方ニ於テモ國庫ノ補助ヲ仰ギ實施スル府縣道ノ

改良工事ト相俟テ其效果ヲ擧グル計畫ナリトス而シテ失業救濟事業トシテハ獨リ道路ニ止マラズ河川港灣等アレドモ焦眉ノ急トシテ普遍的ナル道路工事ニ依レルヲ得策トシ先ヅ以テ昭和六年度ニ於テ國道改良工事ノ撰擇ヲ見タルモノニシテ本工事ハ三府二十九縣十八路線ニ亙レル廣汎ナル範圍ニシテ總工事費豫算一千七百五十萬圓(工事費一千六百六十六萬七千圓、事務費十三萬三千圓)ヲ要シ其內五百五十萬圓ヲ地方ノ負擔トス而シテ各土木出張所ニ於テ其分掌區域ニ依リ分割施工シ總テ機械力ニ依ラズ一箇年度ヲ限リ完了スルヲ目途トシテ著手シタルモノニシテ其工事ニ使役サルル勞働者ハ地元ノ失業者ニ限ラレ其延人員五百八十三萬三千人ヲ豫定シ失業緩和ニ資シタリシモ同年度內ニ竣成ヲ見タルモノハ五號線ノ曾根田橋改築(福島)及國道二十六號線改修(沖繩)ノミニシテ他ノ四十七箇所ハ其工事ヲ了シタルモ一部ノ殘工事又ハ施工地ノ跡整理等未了ノ爲メ遺憾乍ラ工費ノ殘額ヲ次年度へ繰越シタリ

然ルニ七年度ニ於テモ經濟界ノ不況ハ依然トシテ去ラズ尙各種事業ノ萎微不振ノ爲メ失業者依然減少スルニ至ラズ仍テ之ガ救濟ヲ圖ル爲メ前年度ノ殘工事ノ外引續キ政府直轄ノ下ニ國道ノ改良事業ヲ起興セントシタルモ第六十回帝國議會ハ解散セラレ豫算不成立ニ終レリ然レドモ失業者ノ救濟ハ焦眉ノ急ナルヲ以テ不取敢昭和六年度豫算四、五兩箇月分二百九十一萬六千六百六十八圓ヲ政府直轄國道改良事業費實行豫算トシテ計上シ內九十二萬六千六百六十七圓ヲ關係府縣ニ分擔セシメ前年度ト同樣失業者ヲ救濟スルト同時ニ道路改良ノ促進ヲ計リタリ然ルニ世界的經濟界ノ不況ハ益々深刻ヲ加ヘ失業者簇出スルノ現狀ナリシヲ以テ積極的ニ事業ヲ興シ產業ノ振興ヲ圖リテ失業ノ防止ト救濟トニ力ムルノ方針ヲ採リ新ニ產業振興道路改良事業ヲ計畫シ以テ自動車ノ發達ニ基因シテ要求セラルヽ道路改良ノ急ニ應ジ自動車ノ機能ヲ產業ノ進展ニ利用スルコトヲ企圖シタリ卽チ從來ノ道路改良計畫ハ徒ニ長期

ニ亙ルノミナラズ國庫補助政策ノミヲ以テシテハ充分ナラザルノ嫌アリ仍テ昭和七年度以降五箇年度間ニ亙ル計畫ヲ樹立シ國道直轄ノ制度ヲ確立スルニ至レリ

右計畫ノ下ニ第六十二回帝國議會ニ總額一千八百二十五萬九千七百九十九圓ノ追加豫算ヲ提出シテ其ノ協賛ヲ得内一千二百六十二萬六千四百六十六圓ヲ以テ國道ヲ改良シ内三百七十九萬二千五百圓ハ關係府縣ニ分擔セシメ前述失業救濟國道改良費豫算ト合セ北海道、秋田、山形、福島、福井、鳥取、島根、徳島、香川、愛媛、高知、宮崎、沖繩ヲ除ク三府三十一縣下ニ於テ一號、二號、三號、四號、六號、七號、八號、九號、十號、十一號、十二號、十四號、十五號、十六號、十七號、二十五號、二十六號、三十二號ノ十八路線六十四箇所ヲ施行スルコトトシタリ

然ルニ財界ノ不況彌々深刻ニシテ農山漁村ノ疲弊其極ニ達シ到底右計畫ヲ以テシテハ窮狀ヲ打開スル能ハザルノ實情ニ至レルヲ以テ更ニ第六十三回臨時議會ノ協賛ヲ經テ農村振興ノ爲メニ必要ナル道路工事ヲ起興スルガ爲メ國道改良費百十四萬五千圓(事務費二萬五千圓ヲ含ム)ヲ計上シ内三十三萬三千三百三十三圓ハ關係府縣ニ負擔セシメ東京、埼玉、長野、青森、秋田、石川、富山ノ一府六縣下ニ於テ四號、五號、八號、九號、十一號ノ五路線七箇所ノ國道改良工事ヲ施行スルコトトシ内埼玉、長野、秋田三縣下ノ工事ヲ除クノ外ハ既定産業振興國道改良事業ト併セ工事ヲ施行スルコトトシタリ

而シテ八年度以降ニ於テモ亦財界ノ不況依然トシテ去ラズ都市ニ於テハ多數ノ失業者ヲ見又農村ノ疲弊尚癒エズ中小商工業者ノ窮狀緩和サルルニ至ラザルヲ以テ八年度ニ在テハ前年度ニ於テ執行シタルト同樣ノ道路工事ヲ起興シテ所謂非常時局ヲ匡救スルノ必要アリ仍テ前記道路改良五箇年度計畫ノ趣旨ニ則リ政府自ラ國道改良工事ヲ施行セシガ九年度ニ於テモ前記ノ狀態ヲ持續セルヲ以テ改良工事ヲ續行スルノ外農村ノ疲弊救濟ノ趣旨ヲ以テ應急工事ヲモ施行シ本年度亦九年度ノ後ヲ承ケテ續工スル

モノトス

以上述ベタル事業ニ付テハ何レモ道路改築ノ見地ニ基キ交通上最モ重要ナル路線、箇所ヲ撰擇シテ其改良ノ效果ヲ充分ナラシムルニ努メ且工事ノ施行ニ關シテハ凡テ政府自ラ直營スルノ方針ヲ採リ東京、横濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸及下關ノ各土木出張所ヲシテ之ヲ施行セシムルコトトシタリ各工事ノ狀況ニ付テハ第六章ニ於テ表示スルガ如クニシテ其列擧ニ就テハ豫算面ニ基キ前年度ノ繰越ニ係ルモノト本年度起工ノ時局匡救、産業開發、農村其他應急トニ夫々分割シ各事業ノ關係ヲ知ルノ便ニ供シタリ

第五　本年度施行工事

本年度ニ於テ直轄工事ヲ施行セルハ河川改修四十二、河川附屬物及水路維持七、砂防九、港灣改良二十三、復舊及應急六、國道改良九十六、合計百八十三工事ニシテ何レモ本省直轄ノ下ニ東京、横濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸、下關ノ八土木出張所ニ於テ其任ニ當レリ而シテ是等ノ總工費豫算額ニシテ本年度施工ニ關スルモノハ河川改修工事費三億一千三百十四萬四千二百六十一圓、河川附屬物及水路維持工事費一千三百九十九萬四百六十八圓、砂防工事費一千五萬一千三百六十九圓、港灣改良工事費一億二千二百十三萬五千八十三圓、復舊及應急工事費六百六十五萬七千五百六十一圓、國道改良工事費一千三百九十五萬二千四百六十圓、合計四億七千九百九十三萬一千二百二圓ニシテ起工以來本年度迄ノ竣功額ヲ累算スレバ三億二千七百四十二萬四千八百八十八圓ニ達シ其內本年度ノ竣功ニ屬スルモノハ三千二百十八萬五百十五圓ナリトス今之ヲ本年度末竣功歩合ニ就テ見レバ河川改修工事費ハ其總工費ノ六割ニ當リ河川附屬物及水路維持工事費ハ同七割三分、砂防工事費ハ同八割、港灣改良工事費ハ同八割四分、復舊及應急工事費ハ同九

割三分、國道改良工事費ハ八割八分ニシテ各工事ヲ通ジタル竣功歩合ハ同六割八分ニ當レリ而シテ以上ノ外明治三十六年度以降前年度迄ニ竣功シタル各工事ノ累算額ハ二億七千六百十四萬九千四百九圓ニシテ之ヲ前記ノ竣功額ニ合算スレバ實ニ六億三百五十七萬餘圓ノ巨額ニ達セルモノナリトス

今以上ノ工事費ヲ各工事ニ區別シ之ヲ列記スレバ次表ノ如シ但シ前年報ニ比シ差違アルハ工事費豫算ヲ改訂セルモノアルト竣功セルモノヲ除キ新規著手ノ分ヲ加ヘタル等ニ因ル表中工事名欄國道改良工事中ノ「九時匡」ハ九年度時局匡救ノ繰越事業、「九農急」ハ九年度農村其他應急工事ノ繰越事業、單ニ「時匡」トアルハ本年度ニ於ケル新規着工ノ時局匡救事業、「農急」ハ本年度ニ於ケル新規着工ノ農村其他應急工事、「産開」ハ本年度ニ於ケル新規着工ノ産業開發事業ヲ示シ竣功額欄「◎」ハ縣市若クハ會社等負擔額「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ寄附又ハ提供材料竝勞力費「●」ハ千住機械工場委託製作品價額「○」ハ河川費支出額「×」ハ土木試驗所ヘ補給減額「■」ハ依託工事費「■」ハ軌道會社負擔額ヲ示シ殘高欄「△」ハ超過額ヲ示ス（竣功高ニシテ豫算額ヨリ超過セルモノアルハ他ヨリ流用シタルモノ等アルニ因ル）

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣工高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
河川改修工事		円	円	円	円	円	割分
荒川上流改修工事	東京	二二、〇三八、三八二	一七、四七七、一八五 五七、三三一、〇一四 一、九七八、七八八	四三八、一四〇 四六、六一六 一、一二五、一九三	二〇、一五五、三二八 一〇四、一一七、〇一四 一、九七八、七八八	八三、〇五四	〇・九六
最上川改修工事	新潟	一三、四五九、〇四四	一、九七八、七八八 一〇四、六七五、〇一四 一、九七八、七八八	七、九六七 一、一二五、一九三	一、九八六、七五六 一〇四、六七五、〇一四 一、九七八、七八八	一、四八〇、二三六	〇・八九
江合、鳴瀬兩川改修工事	仙臺	七、六九四、〇六八	一、九七八、七八八 五六、二七〇、〇一四 一、九七八、七八八	二、〇五一、九三四 二、六八三、二五五	一、九七八、七八八 五八、九五〇、〇一四 一、九七八、七八八	一、〇四〇、〇六六	〇・八七
雄物川改修工事	仙臺	一〇、二九七、〇八	八、八〇八、三五八 四六、一二五 一、九七八、七八八	二八〇、六二四	九、一二九、一二五 一、九七八、七八八	一、一六七、八六六	〇・八九

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	歩合
河川改修工事							
千曲川改修工事	新潟	一二、〇三一、五五〇	九、六五五、九四四	一、二七四、七一八	一〇、九三〇、六六二	一、一〇一、八八	〇・九
加古川改修工事	大阪	五、八三四、四八五	五、五五九、〇八七	一七、三四一、三四〇	五、五五九、二二七	二六五、二二一	一・〇
神通川改修工事	新潟	八、二五五、二八四	七、八八九、四八二	一九、四一一、九三三	七、九〇八、四五三	三五二、七七七	〇・九六
岩木川改修工事	仙臺	九、三三二、〇二一	八、三七二、九四〇	一七、一八六、四〇九	八、六四五、一八〇	八七六、八三六	〇・九二
阿賀川及阿武隈川改修工事	仙臺	二二、六八八、四六六	一〇、五一九、三七二	三〇、五七二、一八四	一〇、七四一、五五六	一、九四一、五六四	〇・八五
圓山川改修工事	大阪	七、一七七、七七一	六、一二〇、〇五三	一一、八〇九、一四〇	六、二六一、一九三	一、九一五、九〇一	〇・八五
富士川改修工事	東京	一〇、三〇七、一三七	八、一七〇、一四一	一三、一四七、四九九	八、六一八、〇四〇	一、六八九、〇九七	〇・八三
木曾川上流改修工事	名古屋	二〇、二〇一、六〇三	一六、二〇三、八四一	一、〇四八、七四一	一七、二五二、五八二	二、七五〇、一四一	〇・八六
斐伊川改修工事	大阪	五、九七八、八一八	四、一四一、七九五	一、〇二一、一一一	五、一六二、九一六	一、四三一、七四〇	〇・七二
信濃川上流改修工事	新潟	五、三七七、〇七八	三、八三一、一〇一	一、〇三一、一四四	四、八六二、二四五	一、〇一五、八三三	〇・八二
天龍川改修工事	名古屋	五、二九五、四八二	三、三一八、一一二	一、〇一四、五三九	四、三三二、六五一	一、〇六三、三三一	〇・八〇
千代川改修工事	大阪	五、六八八、七三三	三、八八一、一一一	一、〇一一、一一一	四、八九二、二二二	一、〇四四、三三一	〇・八二
蘆田川改修工事	大阪	四、六三六、二二五	三、八一四、一一一	一、〇一一、一一一	四、八二五、二二二	一、〇四四、三三一	〇・八二
紀ノ川改修工事	大阪	三、八三四、二五一	三、〇二三、一一一	一、〇一一、一一一	四、〇三四、二二二	一、〇四四、三三一	〇・八二
筑後川改修工事	下關	九、一二六、六六二	七、八〇一、一一一	一、〇一一、一一一	八、八一二、二二二	三、一三〇、九一五	〇・六五

| 修工事 | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合 四分
河川改修工事							
千取川改修工事	新潟	四、九五〇、〇〇〇	二六七、〇六四	八一〇、〇一一	一、〇七七、〇七五	三、八七一、九二五	〇、二三
小矢部川改修工事	新潟	五、一〇〇、〇〇〇	七三、一四八	三三五、九八一	四〇九、一三〇	四、六九〇、八七〇	〇、〇四
天神川改修工事	大阪	四、七一〇、〇〇〇	九五、〇三二	三八八、五八〇、一一六	四八三、五八〇、一一六	四、二八六、四一五	〇、一〇
小計（四二）	八	三三、一四四、一六二	一七二、四一六、一六九	一四、二九四、九三七	一八七、七二一、一〇六	二五四、四三一、一五五	〇、六〇
河川附屬物及水路維持工事							
木曾川附屬物及水路維持工事	名古屋	一、五七一、三七〇	一、〇四〇、五四一	四七、一三五	一、一八七、六七七	三〇五、六九三	〇、九二
淀川維持工事	大阪	二、一五八、〇四三	一、六二九、二一〇	三三、一二五	一、四五四、三三五	四三、八一三	〇、八六
利根渡良瀬兩川維持工事	東京	五、一一一、一〇三	四、三六一、二一七	三一、四七三	四、三九二、六九〇	三〇五、六一三	〇、九三
信濃川維持工事	新潟	一、三三一、二一九	一、〇一〇、一三五	五〇、一三〇	一、〇六一、一六五	二六一、九五四	〇、七九
荒川維持工事	東京	一、九四五、八三三	一五四、三四五	一二、三五一	一六七、一九六	一、三三一、一三五	〇、一二九
多摩川維持工事	東京	一、〇〇〇、〇〇〇	一五四、六九八	九、三一二	一六四、〇一〇	七四七、九九〇	〇、一三
北上川維持工事	仙臺	一、〇〇〇、〇〇〇	九二、〇四一	一二、〇九二	一〇四、一三三	七九五、八六七	〇、一三
小計（七）	五	一三、九四〇、四六八	九、四一七、九一八	一八〇、六三一	九、五九七、五四九	三、七六六、三〇六	〇、七三
砂防							
淀川流域（瀨田川）砂防工事	大阪	九四〇、〇〇〇	▲	▲	▲	四五、〇一三	〇、〇五
富士川流域砂防工事	東京	一、五八一、三七〇	一、五八三、一三七	三七、一五八	一、六二〇、七八一	七四、四五六	〇、九五
信濃川水系砂防工事	新潟	九八七、三七一	▲	▲	▲	一、〇一六	〇、九九
鬼怒川流域砂防工事	東京	八四五、二七一	八四五、二七一	一八、九八六	八六四、一五七	三、四九九	〇、九九
常願寺川流域砂防工事	新潟	二、二一〇、〇一五	一、一六一、九四九	三一、四五二	一、一九三、四〇一	四三、六四四	〇、八〇
手取川流域砂防工事	新潟	一、四二一、八九一	六八一、一六六	六八、五八一	七四九、八四七	五四、〇三五	〇、五〇

| 工事 | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
港灣改良工事							
細島港修築工事	下關	一、三五五、〇〇〇円	四五三、八四〇円	一九〇、六四〇円	六四四、五八〇円	七一〇、四八〇円	〇・四八
若松港修築工事	下關	七四〇、〇〇〇	三七一、五二七	一四四、四二一	五一六、〇三八	二三三、九六二	〇・三〇
廣島港修築工事	大阪	三、五〇〇、〇〇〇	八七七、五一三	四一五、五六四	一、二九三、〇七七	二、二〇六、九二三	〇・三七
和歌山港修築工事	大阪	二、一六〇、〇〇〇	▲五八〇、四九五	五二、七四八	▲五二七、七四七	一、〇二二、二〇三	〇・五二
酒田港修築工事	新潟	一、五三一、〇〇〇	五三九、六九二	二三四、〇二九	七五三、七二一	七五八、二七八	〇・五〇
門司港浚渫工事	下關	一五〇、〇〇〇	—	一四八、三〇九	一四八、三〇九	一、六九一	一・〇〇
小計（一二三）	六	一二三、一三五、〇八三	九四、六八七、三七五	八、一八三、七五九	一〇二、八七一、一三四	一九、二五三、九四九	〇・八四
復舊及應急工事							
相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事	東京	三、七五六、七五五					
大和川應急工事	大阪	一、六三一、八九一	三一、一七四、七六六	一〇〇、七三四	三一、二七四、五〇〇	四八一、三五〇	〇・八七
桂川災害復舊工事	大阪	一九九、八一一	一、九六六、〇一六	三一、二五九	一、九九七、二七五	五六、六一七	一・〇〇
淀川災害復舊工事	大阪	三六四、二九三	四一、三五三、九四〇	三七三、九二一	四一、七二七、八六一	九、六一九	一・〇〇
利根、渡良瀬兩川維持災害復舊工事	東京	五九一、〇〇〇	二九一、四一六	二九、三五二	三二一、七六八	二六九、二三二	〇・五四
筑後川改修水害復舊工事	下關	二一二、八〇〇	—	一二一、八〇〇	一二一、八〇〇	九五、〇〇〇	〇・五六
小計（六）	三	六、六五七、五六一	五、二三〇、七六	九五、〇七六	五、三二六、一三六	六、一七八、四五五	〇・九三
國道一號線（藤澤）改良工事（九時匡）	横濱	七〇、〇〇〇	六七、四八三	二、五一七	七〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道一號線（藤澤、茅ヶ崎）改良工事（九時匡）	横濱	八〇、〇〇〇	一八、三五八	六一、六四二	八〇、〇〇〇	—	一・〇〇
國道一號線（茅ヶ崎）改良工事（時匡）	横濱	一〇〇、〇〇〇	—	八六、五八七	八六、五八七	一三、四一三	〇・八七
國道一號線（二宮）改良工事（時匡）	横濱	三〇、〇〇〇	—	一二、五九〇	一二、五九〇	一七、四一〇	〇・四二
國道一號線（二宮）改良工事（時匡）	横濱	一七〇、〇〇〇	—	一五三、四二〇	一五三、四二〇	一六、三八〇	〇・九〇

| 道路改良工事 | | |

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
		円	円	円	円	円	四分
國道三號線（宮崎）改良工事（時匡）	下關	一五〇、〇〇〇	◎	一〇八、七〇〇	◎ 一〇八、七〇〇	四一、二九一	〇、七二
國道四號線（草加）改良工事（時匡）	東京	一〇〇、〇〇〇		八〇、一八六	八〇、一八六	一九、八一四	〇、八〇
國道四號線（栃木）改良工事（時匡）	東京	一〇〇、〇〇〇		七五、三五九	七五、三五九	二四、三六一	〇、七六
國道四號線（福島）改良工事（九農急）	仙臺	二一〇、〇〇〇	八九、九三二	三〇、〇八	二一〇、〇〇〇		一、〇〇
國道四號線（福島）改良工事（農急）	仙臺	八〇、〇〇〇		七二、一七〇	七二、一七〇	四、八三〇	〇、九四
國道四號線（宮城）改良工事（九農急）	仙臺	五〇、〇〇〇	四六、三一〇	三、六八〇	五〇、〇〇〇		一、〇〇
國道四號線（宮城）改良工事（農急）	仙臺	一〇〇、〇〇〇		九六、一七〇	九六、一七〇	三、八三〇	〇、九六
國道四號線（宮城）改良工事（九農急）	仙臺	八〇、〇〇〇	五七、〇二一	二二、九八七	八〇、〇〇〇		一、〇〇
國道四號線（宮城）改良工事（農急）	仙臺	二〇〇、〇〇〇		一五二、一四一	一五二、一四一	四七、八五九	〇、七六
國道四號線（岩手）改良工事（九農急）	仙臺	八〇、〇〇〇	六一、七二一	一八、二八〇	八〇、〇〇〇		一、〇〇
國道四號線（岩手）改良工事（農急）	仙臺	一〇〇、〇〇〇		九一、五八三	九一、五八三	八、四一七	〇、九二
國道四號線（岩手）改良工事（九農急）	仙臺	八〇、〇〇〇	四七、六二二	三二、三八八	八〇、〇〇〇		一、〇〇
國道四號線（岩手）改良工事（農急）	仙臺	一三〇、〇〇〇		一二三、一〇七	一二三、一〇七	六、七三三	〇、九四
國道四號線（岩手）改良工事（農急）	仙臺	一〇〇、〇〇〇		七六、〇二〇	七六、〇二〇	二四、九八〇	〇、七五
國道四號線（岩手、青森）改良工事（九時匡）	仙臺	一六八、〇〇〇	一四四、〇一六	二三、九八四	一六八、〇〇〇		一、〇〇
國道四號線（青森）改良工事（九農急）	仙臺	五〇、〇〇〇	四六、〇八一	三、五一九	五〇、〇〇〇		一、〇〇
國道四號線（青森）改良工事（農急）	仙臺	一三〇、〇〇〇		一二、一〇二	一二、一〇二	一七、八九八	〇、九一
國道五號線（福島、山形）改良工事（九時匡）	仙臺	一七八、〇〇〇	一五三、〇二〇	二二、九八四	一七八、〇〇〇		一、〇〇
國道五號線（福島、山形）改良工事（農急）	仙臺	三〇〇、〇〇〇		二三〇、六三五	二三〇、六三五	六九、三三五	〇、七七
國道五號線（秋田）改良工事（九時匡）	仙臺	一〇〇、〇〇〇	八九、一〇五	七、八九五	九六、〇〇〇	四、〇〇〇	〇、九六
國道五號線（秋田）改良工事（農急）	仙臺	一五〇、〇〇〇		一一七、五六四	一一七、五六四	三二、四三六	〇、七八

良工事

國道五號線（青森）改良工事（九農急）	仙臺	50,000	三八、六〇二	一一、二九八	50,000	—	1.00	—	1.00
國道五號線（青森）改良（農急）	仙臺	60,000	—	60,000	60,000	—	1.00	—	1.00
國道六號線（金町）改良工事（時匡）	東京	120,000	—	120,000	120,000	三〇、九四四	1.00	三〇、九四四	1.00
國道六號線（千葉）改良工事（九時匡）	東京	200,000	一七六、六一六	一三三、三四九	200,000	三	1.00	三	1.00
國道六號線（取手）改良工事（九時匡）	東京	100,000	八三、一三三	一六、四二九	100,000	四三九	1.00	四三九	1.00
國道七號線（千葉）改良工事（時匡）	東京	200,000	—	一四、一九二	200,000	〇八〇、八四	0.95	〇八〇、八四	0.95
國道八號線（山梨）改良工事（九農急）	東京	60,000	一〇、六四〇	四九、〇二二	60,000	一九	1.00	一九	1.00
國道八號線（山梨）改良（農急）	東京	110,000	—	五六、一三三	110,000	六三、八六八	0.94	六三、八六八	0.94
國道八號線（岐阜）改良工事（農急）	名古屋	140,000	一三一、九七七	一七、九九二	140,000	一四一	1.00	一四一	1.00
國道八、十三號線（岐阜）改良工事（時匡）	名古屋	100,000	—	一五七、一二七	100,000	四二、九八一	0.97	四二、九八一	0.97
國道九號線（板橋）改良工事（九時匡）	東京	50,000	四四、〇六四	五、八七二	50,000	六四	1.00	六四	1.00
國道九號線（板橋）改良工事（時匡）	東京	110,000	—	一六、〇九一	110,000	五九、二五九	0.97	五九、二五九	0.97
國道九號線（大宮）改良工事（九時匡）	東京	230,000	一三三、九八四	一二六、二〇三	230,000	一四	1.00	一四	1.00
國道九號線（大宮）改良工事（農急）	東京	100,000	—	五六、〇九四	100,000	四三、九七〇	0.95	四三、九七〇	0.95
國道九號線（群馬）改良工事（九時匡）	東京	180,000	一三〇、三一六	一七、九五九	180,000	八	1.00	八	1.00
國道十號線（群馬）改良工事（九農急）	東京	60,000	三一、四七七	一二、八四一	60,000	五九、九五八	0.98	五九、九五八	0.98
國道十號線（更級）改良工事（農急）	新潟	80,000	—	五四、〇五五	80,000	二六、七四二	0.97	二六、七四二	0.97
國道十號線（埴科）改良工事（九農急）	新潟	130,000	一四、八七五	一五、一三九	130,000	一一	1.00	一一	1.00
國道十號線（蒲原）改良工事（農急）	新潟	240,000	—	三六、一〇七	240,000	三六、八八九	0.98	三六、八八九	0.98
國道十號線（蒲原）改良工事（九農急）	新潟	100,000	七五、五〇九	二四、四九一	100,000	—	1.00	—	1.00
國道十號線（蒲原）改良工事（農急）	新潟	150,000	—	二五、八八七	150,000	二四、二一一	0.98	二四、二一一	0.98
國道十號線（秋田）改良工事（九農急）	仙臺	60,000	四八、六二五	一一、二九八	60,000	—	1.00	—	1.00
國道十號線（置賜）改良工事（九農急）	新潟	100,000	七四、三三四	二五、六六六	100,000	—	1.00	—	1.00

工事名	擔當出張所	工費豫算額	竣功額 前年度迄竣功高	竣功額 本年度竣功高	竣功額 合計	殘額	竣功歩合
國道改良工事		円	円	円	円	円	初分
國道十號線（押切）改良工事（農急）	新潟	六〇、〇〇〇		四九、八二四	四九、八二四	一〇、一七六	〇、八三
國道十號線（酒田）改良工事（農急）	新潟	一〇〇、〇〇〇		六二、四三九	六二、四三九	三七、五六一	〇、六二
國道十一號線（親不知）改良工事（九時、匡）	新潟	一八五、〇〇〇	一五五、三九七	二九、六〇三	一八五、〇〇〇		一、〇〇
國道十一號線（親不知）改良工事（時匡）	新潟	一五〇、〇〇〇		一三六、三七〇	一三六、三七〇	一三、六三〇	〇、九一
國道十一號線（高岡）改良工事（時匡）	新潟	一八〇、〇〇〇		一五〇、七一七	一五〇、七一七	二九、二八三	〇、八四
國道十二號線（愛知）改良工事（九時匡）	名古屋	一〇〇、〇〇〇 四五、〇〇〇	八〇、七三四 三五、九三四	一九、六八七 一九、六八七	一〇〇、〇〇〇 四四、一、六八七	一七、一七六 ●	一、〇〇
國道十二號線（小松）改良工事（九時匡）	新潟	一五五、〇〇〇	一四七、四五五	二九、一三	一四七、四五五	七、五四五	〇、九五
國道十五號線（奈良）改良工事（九時匡）	大阪	一〇一、九六〇	七二、〇四八	二九、九一三	一〇一、九六一	一、九六一	一、〇〇
國道十五號線（奈良）改良工事（時匡）	大阪	八九、五〇〇		六五、五五七	六五、五五七	二三、八四三	〇、七三
國道十六號線（和歌山）改良工事（九時匡）	大阪	二〇〇、〇〇〇	一八、九五八	一八一、〇七七	一九九、〇三五	一、九六五	〇、九九
國道十六號線（和歌山）改良工事（時匡）	大阪	三三八、〇〇〇		三三五、二九一	三三五、二九一	二、七〇九	〇、九九
國道十六號線（大阪）改良工事（九時匡）	大阪	一〇〇、〇〇〇	一五一、四二五	三九、三四七	一九〇、七七二	九、二二八	〇、九五
國道十六號線（大阪）改良工事（時匡）	大阪	一〇〇、〇〇〇		八九、九九一	八九、九九一	一〇、〇〇九	〇、八九
國道十八號線（京都）改良工事（九時匡）	大阪	一一〇、〇〇〇	二〇八、一五〇	一二、一七四	二二〇、一二四	一八、四三六	一、〇〇
國道十八號線（京都）改良工事（時匡）	大阪	九〇、〇〇〇		八八、九九一	八八、九九一	一、〇〇九	〇、九九
國道二十二號線（香川）改良工事（九時匡）	神戸	一〇〇、〇〇〇	一七一、九八八	二七、〇五五	一九九、〇四三	九、一四三	〇、九五
國道二十二號線（香川）改良工事（時匡）	神戸	一〇〇、〇〇〇		八八、九九一	八八、九九一	一一、〇〇九	〇、八九
國道二十四號線（愛媛）改良工事（農急）	神戸	一〇、〇〇〇		一三五、八〇五	一三五、八〇五	二、一九五	〇、九八
國道二十五號線（佐賀）改良工事（九時匡）	下關	一五〇、〇〇〇	一四九、九四一	三、〇五九	一五三、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇二
國道二十五號線（佐賀）改良工事（時匡）	下關	七〇、〇〇〇	三〇、七二九	三九、二七一	七〇、〇〇〇	四、一七一	〇、五九
國道三十二號線（廣島）改良工事（九時匡）	大阪	三〇〇、〇〇〇	三〇、七二九	九八、一四九	一二九、八七八	一七〇、一二二	〇、四三

事										
國道三十二號線（廣島）改良工事（時匡）	大阪下關	八	三〇〇、〇〇〇	—	一九八、八三五	一〇一、二五	〇・六五			
國道三十三號線（長崎）改良工事（九時匡）	大阪下關	八	一〇〇、〇〇〇	◎	一〇、五四八、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一・〇〇			
國道三十三號線（長崎）改良工事（時匡）	大阪下關	八	一〇〇、〇〇〇	◎	九七、八三五、三四八	九七、八三五、三四八	〇・八八			
小計（九六）		八	一三、九二、四五〇	四、八三〇、三五〇	七、四八〇、七五五	一二、三四一、五八〇	一、二二一、一〇二	〇・八八		
總計（一八三）		八	四七、九三一、一〇一	二九五、四四三、三七二	三一、一〇三、一五八	一一、三四一、八八〇	一一五、〇五三、三一九	〇・六八		

第六竣功工事

直轄ニ係ル河川改修工事、砂防工事及港灣改良工事ニシテ昭和九年度迄ニ竣功シタル主要ナルモノヲ一括シ其竣功順ニ列記スレバ左表ノ如シ但シ竣功額ノ豫算額ヨリ超過シタルモノアルハ流用等ニ因ル

工事名	地方名	著手年度	竣功年度	豫算額	竣功額
河川改修工事					
筑後川改修工事	福岡、佐賀	明治二十九年度	明治三十六年度	一、五四〇、〇〇〇円	一、四六八、〇一四円
淀川改修工事	大阪、滋賀、京都	同　二十九年度	同　四十三年度	一〇、〇九四、〇〇〇	一〇、〇七二、一一〇
木曾川下流改修工事	岐阜、愛知、三重	同　二十年度	大正　元年度	九、四六四、三八〇	九、四五九、三七三
庄川改修工事	富山	同　三十三年度	同　元年度	二、九七二、三四一	二、九七二、三四一
遠賀川改修工事	福岡	同　三十九年度	同　七年度	四、八三一、〇〇〇	四、八三一、〇〇〇
淀川下流改修工事	大阪	同　四十年度	同　十一年度	三、七三九、三八〇	三、七三九、三八〇
九頭龍川改修工事	福井	同　三十三年度	同　十三年度	五、四四〇、一四一	五、四四〇、一四一

工事名	地方名	着手年度	竣功年度	豫算額	竣功額
河川改修工事					
渡良瀬川改修工事	茨城、群馬、栃木	明治四十三年度	昭和元年度	一一、八〇〇、〇〇〇円	一一、三五〇、三三三円
信濃川改修工事	埼玉新潟	同四十年度	同二年度	一三、五四一、六五一	一三、五三八、二一六
吉野川改修工事	徳島	同四十年度	同二年度	一二、〇一六、二八五	一一、七九一、三八五
高梁川改修工事	岡山	同四十年度	同二年度	七、九八六、〇八七	七、八二六、一〇八
利根川改修工事	東京、埼玉、千葉	同三十三年度	同五年度	六三、四〇三、一一七	六三、三八、四〇六
荒川下流改修工事	茨城、栃木、群馬	同四十四年度	同五年度	三一、三四二、〇〇〇	三一、三四一、一四六
淀川改修増補工事	東京、埼玉	大正七年度	同七年度	一四、二七一、八五一	一四、二七一、二五五
阿賀野川改修工事	大阪、京都	同四年度	同八年度	一一、八八八、一六〇	一一、八八七、二一九
多摩川改修工事	新潟	同四年度	同八年度	七、四一四、七八七	七、二一〇、〇一一
北上川改修工事	東京、神奈川	同七年度	同八年度	一四、三七二、三九七	一四、三七一、五三五
太田川改修工事	宮城	同四十四年度	同九年度	四、五一九、四〇一	四、五七、四九
小	静岡	大正八年度	同九年度		
計（一八）		—	—	二四〇、五一四、八一二	二三七、六三二、三一二
砂防工事					
吉野川流域砂防工事	徳島	大正四年度	大正九年度	一五〇、〇〇〇	一四一、二五八
野洲川流域砂防工事	滋賀	同四年度	同十三年度	六〇、〇〇〇	五九、八三三
神通川流域砂防工事	岐阜	同八年度	昭和五年度	二七六、八三八	二七六、五七六
桂川流域砂防工事	京都	同五年度	同六年度	九五、一〇〇	九四、九三三
小		—	—	五八一、九三八	五七一、六三〇
計（四）					
敦賀港修築工事	福井	明治四十二年度	大正二年度	八〇〇、〇〇〇	七三三、二一〇
新潟港修築工事	新潟	大正六年度	同十四年度	二、三四二、一〇七	二、三三六、二〇一

| | | |